

社会福祉施設

ってどんな場所？職員の施設レポート

～ひのみね総合療育センター～



—私の施設！—

徳島赤十字ひのみね総合療育センターは、「ひのみね学園」「ひのみね療育園」「ひのみね療護園」からなる障害者のための入所施設であり、それぞれが障害等の区分毎に、子どもから大人までを対象として総合的な支援を行っています。昭和 34 年に開設後、県内の障害者福祉の要として、地域に根差したサービスを提供しています。

基礎データ

施設：肢体不自由児施設・重症心身障害児施設・障害者支援施設

所在地：徳島県小松島市中田町新開

定員：計 190 名 職員数：246 名

こんにちは！介護福祉士の菊池がレポートします！

—こんな特色が！—

入所サービスだけでなく、地域の障害児者への支援も行っています。短期入所や日中一時支援のほか、自宅訪問可能な相談機関も有しており、障害児者やその家族の自立・社会参画促進に向けた、総合的な支援をしています。また平成 24 年度から発達障害児者を支援する拠点として「発達障害者総合支援ゾーン」が当センター周辺に形成されたことから、当センターは医療面での支援として、発達障害のある未就学、就学中の児童対象の新事業を開始しました！



発達障害に
対する支援
も開始！

—私の施設自慢！—



私たちの施設は海と山の自然に囲まれながらも街の中心に位置しており、温かい地域のみなさんに、多くの支援をいただいています。例えば、最も盛り上がる施設行事のひとつである「ひのみね祭」では、地域で活躍されている団体のみなさんに阿波踊りなど楽しい催し物をしていただいたり、たこ焼きやドーナツの移動販売など多くの企画を提供していただいています。

その他、陶芸や華道の講座、マッサージなど、様々なボランティアのご協力もいただいています。そんな地域との絆が、施設の自慢です！

—より良い施設を目指して！—

世の中のバリアフリー等の充実化が進むと共に、法改正も進められるなど、障害者福祉を取り巻く環境が大きく変化している中で、障害のある方と心を通わせ、優しい心を持ちながらサービスを提供することを、常に心がけています。

当センターが障害児者支援拠点のモデルとなるように、これからも全職員が協力して頑張っていきます！

